

1990年代の資源に関する日米合同セミナー講演集

——編集に当って——

藤井 紀之・寺岡 易司 (海外地質調査協力室)
Noriyuki FUJII Yoji TERAOKA

国際資源情報解析利用システムに関するシンポジウムの一環として「1990年代の資源に関する日米合同セミナー」が昭和59年6月27日に工業技術院筑波研究センターで開催され、資源問題関係者の大きな関心呼び起した。このセミナーは財団法人資源観測解析センターの後援を受けて地質調査所が主催したものであるが、その実現に当っては通産省機械情報産業局宇宙産業室と米国地質調査所の御好意に依存する面が極めて大きかった。とりわけ米国地質調査所の Peck 所長が当所の陶山淳治所長(当時)の要請に応じてエネルギー及び鉱物資源予測のそれぞれの分野における第一人者である C. D. Masters 及び D. A. Singer 両博士を派遣して下さったことは本セミナーに一段と重味を加える結果となった。また日本側講演者として石油探査システム開発の先駆者である東大工学部資源工学科の石井吉徳教授と地熱資源探査及び評価システム開発のリーダーである当所地殻熱部の小川課長に加わって頂くことにより最近にない幅広さと内容を持つセミナーを開催することが出来た。このセミナーの報告書は既に(財)資源観測解析センターによって出版されているが Masters, Singer 両氏の講演は英文テキストをそのまま掲載したものであるため改めてこのような形で再編集し大方の御参考に資することにしたものである。なお「1990年代の資源」というテーマを掲げたのは近未来の資源の状況を把握することによって将来の資源問題を考える手

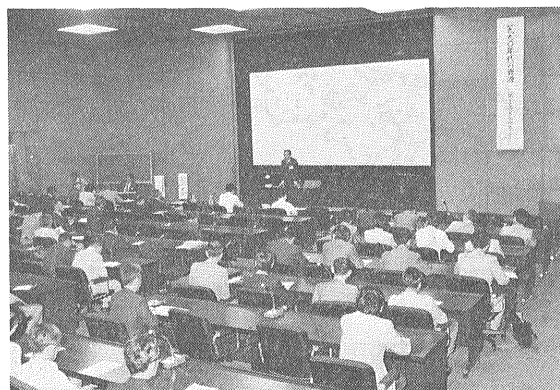
掛りを得たいという意図によるものである。しかしセミナーの実際の内容はむしろ21世紀の資源問題に対するアプローチと言え面を多く含むものとなった。

当日は米国側の講演は逐次通訳付で行われた。この特集はその録音から起した原稿を基にして編集したものである。なお日本側の講演内容の記録のチェックはそれぞれ講演者の方をお願いしたが全体のバランス上改めて書き直しをお願いする必要を生じ講師の方に大変な御面倒をおかけする結果となった。Masters 氏の講演の編集は寺岡が Singer 氏の分は藤井が担当したが果して講演内容を正確に表現し得たかは疑問なしとしない。もし記述に誤りがあるならばそれは編集に当った私達の責任であることをお断りしておきたい。

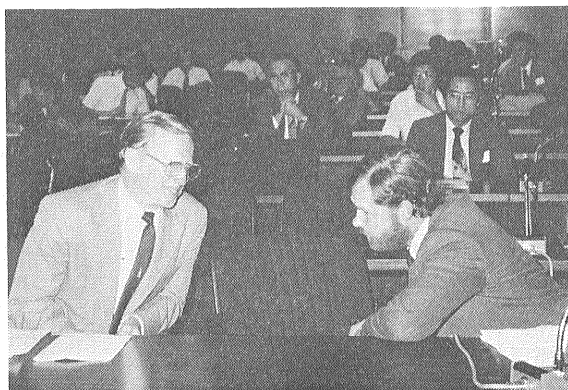
本特集の発行は当初から計画されていたが種々の都合で編集が遅れ講演者の方々に御迷惑をおかけする結果となった。しかし今回全編を読み返して見ても1年の時の経過にも拘らずその価値は全く変わっていない。

貴重な論説を提供して下さい下さった講演者の方々にまた多大の御後援を頂いた(財)資源観測解析センターの方々に改めて厚く御礼申し上げる次第である。

また本セミナーの開催に当っては多くの方々の御協力を得たがとりわけ津宏治・村上裕(以上物理探査部)矢野雄策(地殻熱部)古宇田亮一(鉱床部)の各氏には当日だけでなくその後の講演記録のとりまとめにも多大の御協力を頂いた。この機会に深く謝意を表したい。



開会の挨拶を述べる沢所長(当時)



マスターズ(左)シンガー両氏